

# 山梨県版 2040年 就業構造推計の実施と人材戦略の策定について（案）【資料3】

人口減少後を見すえた地域づくりに向けた、人材需給の見通しを可視化し、施策の高度化・部局横断的な人材政策を推進

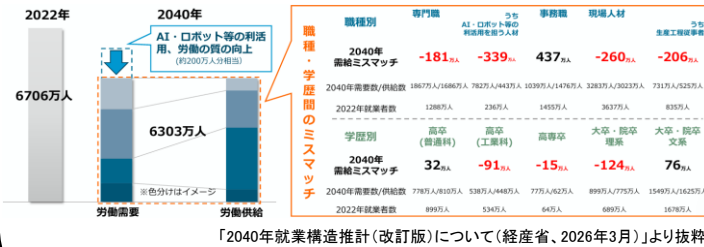
## 1 趣旨

- 人口減少が進展する中、労働力の縮小に伴い、産業の担い手不足や地域サービスの維持が課題
- 特に今後は、職種などによる**人材需給のミスマッチが課題**として顕在化することが見込まれる
- こうした状況を踏まえ、本県の地域特性を踏まえた人材需給の見通しを明らかにし、それに基づく施策の高度化及び部局横断的な人材政策の推進を図る必要がある
- このため、本県独自の就業構造推計を実施し、「**人材需給見通し**」を策定するとともに、関係部局と連携し「**人材戦略**」を取りまとめることとした

## 2 背景・現状

### (1) 国の動向

経済産業省においては、2040年の就業構造推計が公表されており、人口減少の下でもAI・ロボット等の導入により全体として大きな労働力不足は生じない一方、職種・学歴・地域間で人材の需給ミスマッチが拡大する可能性が示されている。



### (2) 本県の状況

- 本県は、製造業や観光業など現場型産業の比率が高く、地域経済を支える人材の確保が重要な課題となっている。
- 一方で、若年層の県外流出が続いており、建設、医療・介護、観光等の分野において慢性的な人材不足が見られる。
- また、産業ごとの人材需要と人口構成に基づく人材供給との間に構造的な乖離が存在しており、今後も拡大することが懸念される。

### (3) 現状の課題

- 将来の人材需給に関する定量的な共通認識が不足
- 産業・教育・移住施策が分散し、連動が不十分
- 人材確保対策が個別・短期的に留まっている

## 3 対応の方向性

### ① 就業構造推計の実施



- 本県独自に、2040年を見据えた就業構造推計を実施し、産業別・職種別の労働需要と、人口構成に基づく労働供給を体系的に整理する。
- これにより、人材需給の過不足(ミスマッチ)を可視化し、将来の人材需給に基づく政策立案の基礎とする。

### ② 人材需給見通しの策定



推計結果を基に、不足する人材、余剰となる人材、維持が困難となる可能性のある産業・分野等を明らかにし、部局横断で共有可能な共通データとして整理する。

### ③ 人材戦略の策定



関係部局と連携し、不足人材の確保や県内人材の活用・再配置などの観点から本県独自の人材戦略を策定し、人材不足分野への重点的な対応と地域経済の持続性確保を図る。

## 4 実施体制

- 人口減少危機対策本部事務局を司令塔とし、部局横断的な体制を構築
- 国・山崎総括等と連携し、専門的助言を反映

## 5 スケジュール

～令和8年度上半期

### 推計手法の設計・データ収集

- 推計設計(対象産業・職種等検討)
- 統計・調査データの収集
- 関係部署ヒアリング

～令和8年度下半期

### 推計実施・需給見通し作成

- 就業構造推計の実施
- 需給ギャップの分析・可視化
- 人材需給見通しのとりまとめ

翌年度～

### 人材戦略の策定・施策への反映

- 人材戦略の策定・公表
- 各施策への反映
- 進捗管理・定期的な見直し